

平成30年度
第1回堺市堺区区民評議会
会議録

行政資料番号 1-C8-18-0141

平成30年度 第1回堺市堺区区民評議会 議事録

開催日時	平成30年 4月24日（火） 午後6時30分から午後8時
開催場所	堺市役所 本館3階 大会議室1
出席委員	岡田会長、川上副会長、奥野委員、礎塚委員、貴志委員、北野委員 木下委員、小池委員、松壽委員、間宮委員、矢本委員、湯川委員
事務局職員	堺区役所 西本区長・泉森副区長・福田保健福祉総合センター所長 （企画総務課）大黒課長・山口参事役・藪課長補佐・大仲主幹兼係長 岩野主査・川瀬主査
傍聴者 （一般）	2名
議 題	1 開会 2 堺区長挨拶 3 議事 （1）審議を進めるにあたっての基本的な方向性 （2）堺区区民評議会発意による調査等の実施 （3）その他 3 閉会
資 料	会議次第、委員名簿、配席図 資料1 堺区区民評議会のスケジュール（案） 資料2 基本的な方向性に関する堺市の事業 資料3 堺区区民評議会調査実施計画書（案） 参考資料 諮問書（写） 別冊 堺市堺区区民評議会 平成29年度 中間報告

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
西本区長	<p>1. 第1回堺市堺区区民評議会 開会</p> <p>2. 堺区長挨拶</p> <p>今月より堺区長を拝命いたしました西本でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>平成30年度第1回堺区区民評議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>委員の皆様には、平素より区政の各般にわたり、格別のご支援、ご協力をいただきましてまことにありがとうございます。また、何かとご多忙な中、昨年度から引き続き委員をお引き受けいただき、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>この評議会では、2年間をかけて、「住んでよし」、「働いてよし」、「訪れてよし」のまちのあり方について、審議をいただいております。先月には中間報告をいただきました。今年度は、中間報告の提案でございます地域力の強化、働きやすい環境の整備、郷土愛の醸成に向けた事業をモデル的に実施し、その効果を図りながら審議を進めていただきたいと考えております。我々職員一同、ものの始まり何でも堺の気風を意識しながら、堺区から新たな取組に挑戦してまいりたいと考えておりますので、委員の皆様には、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。</p>
岡田会長	<p>3. 議事</p> <p>(1) 審議を進めるにあたっての基本的な方向性</p> <p>皆さん、新年度でお忙しいとは思いますが、ご参集いただきましてありがとうございます。昨年度に引き続いて、会長の職を担わせていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>また副会長には、引き続き川上副会長にお願いしたいと思います。</p> <p>まず、先ほどご紹介いただいた市長からの諮問事項である、「住んでよし」、「働いてよし」、「訪れてよし」のまちのあり方について引き続</p>

	<p>きご議論をいただきたいと思います。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (岩野主査)	<p>中間報告、資料1、資料2について事務局より説明。</p>
岡田会長	<p>何かご意見等ございますか。</p> <p>まとめていただいた中間報告などから、来年度以降、事業につながるモデル的なことをする方向性で、何か1つでも柱になるものができたらなと考えているところです。</p> <p>何かお気づきの点があれば教えていただければと思います。</p>
奥野委員	<p>この会議は2年目で、中間地点を過ぎてまとめに入るという感じですよ。</p>
岡田会長	<p>最終的には、答申に向けてまとめをしていくという中で、具体的な事業や活動に結びつけていく話し合いをしていきたいと思っています。</p> <p>基本的な考え方の軸である、地域のつながりの低下、高齢化、都市化が進む中で、今の課題にマッチしたコミュニティの強化や、地域をつなげていけるモデル事業が何か考えられたらと思います。地域ごとに課題はあると思うので、あとでフィールドワークや調査で具体化する流れかなと思います。</p> <p>皆様からの、ご意見を自由にいただきたいと思います。</p>
奥野委員	<p>4月からは、フィールドワークなど外に出たいなというのがあります。実際見て、やったらいいのではないかなと思います。時間の都合があれば、別に視察に限らなくてもいいと思います。</p>
岡田会長	<p>今のご意見は、スケジュールとして予定していただいているので、具体的にここに行ったらいいというものがあれば、教えていただきたいです。</p> <p>他に、ご意見等がございましたらお願いします。</p>
川上副会長	<p>地域の魅力を知るきっかけのひとつとして、地域にある隠れた名所などを区民に周知する取組を進めるというのは、この場所にはこうい</p>

<p>事務局 (岩野主査)</p>	<p>う物語がありますよということをさしていますか。</p> <p>おっしゃるとおり、堺区全体のものは、観光や他の部署でも既に看板等を立てております。その地域の方にあまり知られていないが実はこのような物語やこういう言われのある場所だということを発信していくというようなことも含めて、情報発信を行っていきたいと考えております。</p>
<p>川上副会長</p>	<p>市長が歴史文化を活かしたいという中で、では堺の銀座の場所是谁でもわかっています。なぜ銀座って言うかとか、物語を何かサインとしてつくり上げるということですか。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>我々が考えているのは、今わかっている物語とかもそうですけれども、市民・区民の方からの情報の投稿をしていただいて、発信するというのも考えています。周知以外のものの掘り起こしということも含めて、案を出していただいています。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>前回の会議でストーリーの話は出たかと思いますが、広報のところが弱いということが議論にあったと思います。それをもう少し考えていかなければという話だったと思います。本日は自由に方向性を確認し、今年度の調査等々について、確認をするところですから、そのご意見を踏まえて、調査・フィールドワークの内容を具体的にしていきたいと思いますので、ご意見いただけたらと思います。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>1つは、時期的な問題ですけど、後ろにずれている気がします。できれば今後の審議も含めて、早急な開催をお願いしたいと思います。併せて、中間報告に基づくモデル事業というのがありますが、この辺りの中身がよくわかりません。スケジュールや、どういう人たちがどういう意図で、どういうことをしているのというところをフィードバックしていただきたいです。</p>
<p>事務局 (岩野主査)</p>	<p>公募型の事業の中から、形になり、実際に実施するまでになりました。事業計画が挙がっている堺 asobi の実施や、デザインカフェは堺区大道筋沿いの物件を探して、それに入りたいという人をマッチングしていくなどの事業です。今後その内容等も詰めてまいりまして、皆様に提示できるように考えております。</p>

<p>矢本委員</p>	<p>浅香山のプロジェクトというのは、香ヶ丘のほうで活動されている地域の方々、自治会、大学の各分野の方々が集まって、地域を盛り上げていくイベントを協働して実施していきたいと思っております。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>いま挙げた事業だけでなく、堺区でいろんなイベント等々が行われていると思います。事務局のほうで把握している範囲でフィードバックしていただきたいと思います。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>それは広報さかいの堺区版にはおおむね出ているのですか。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>イベントカレンダーというのはありますけれども、直近のものしか載りません。今いいご意見をいただいたので、年間を通じて、こういう事業がありますというのを整理してまいります。</p> <p>事業計画については本会議後に整理できたものを委員のみなさまにメールで配信いたします。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>フィールドワークの前倒しも可能であればお願いします。</p> <p>堺区のいいところをもう一度見に行く、既にもう知られている部分の再発見のために行くのか、堺区外に出て行くのか、どちらの視点かで、行き先が変わってくると思いますが、何かご意見はありますか。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>水辺協議会へ視察に行くスケジュールについてなど、議論ばかりを重ねていてもなかなか実行できないので、実際の取組を見ることはとても大事だと思います。ただ、何をそこで見、それを見た結果、その次の議論として堺市に、例えばこういうことができるのではないかという仮説を立て、ストーリーをつくって行かないと思います。</p> <p>水辺協議会は、その川を使った有効利用について大阪府と地域の人たちが協議会をつくり運営しています。テラスをつくり、今度新しく船着き場をつくりませんが、ただハードを見ても、じゃあすぐに堺区に何かできるということはまずないと思います。ですから、水辺協議会に行くのであれば、その地域の人たちがどのようにして行政と取組</p>

んで、協議会をつくったか、できるまでの過程を聞いて、今どうなっているか。そういう仮説をつくっていかないと行っても意味がないと思うし、何も議論する余地がないと思います。例えば、大道筋まちのデザインカフェを進めていくということですが、では、これを誰がどのように取り組んでいくかということ、水辺協議会に仕組みを見に行くとしたら、もちろん仕組みができていて、動いているわけです。行くにあたり、もう一度目的と結果をここでしっかり議論していけば、つくっていけるのではないかなと思います。

それと、挙がっている取組は、やはりソフトな部分が多いです。ハードではなくて、地域の人たちと話をコミュニケーションをつくらうという部分なので、なかなか目に見える形には変えていけない。でも、まちが変化していき、人の心が動くというのは、何かものをつくり、わかりやすくしていくという気持ちがみんなで盛り上がり、なかなか外の人に伝わらないと思います。いかに形にしていくかと考えたときに、ハードルが高いと思います。みんなの意見が合わずにはできないと思いますが、大阪市は社会実験ということで、ものをつくらうと決めるのではなく、一度実験的につくって、そこに地域の人たちや行政、色々な人が参加して実験しているわけです。

それで、よかったので一度予算を組んでつくってみよう、いや、やはり思ったよりうまくいかなかったから、やめようとなります。何かをつくるには、すごくハードルが高いですが、もう少し進めていくにあたり、とりあえずやってみようという、社会実験みたいな仕組みのようなものが、この評議会から順番に伝わっていけば、形として残していけるのではないかなと思います。

きちんとスケジュールをつくり、やることも整理していただいているので、これをいかに進めて、実現していくかということ、フィールドワークや社会実験を通じて、もう少し進んでいくようになったらいいかなと思いました。

岡田会長

ありがとうございました。フィールドワークについては、確かにおっしゃるとおりで、何を知りたいのか、何を堺区に取り入れたいのか、今課題として出しているわけですから、我々の堺区が抱えている課題に照らし合わせて、その先進事例が何を一歩先に行っているのかを、知るために行くということは、認識していかないとはいけません。委員それぞれのご専門も照らし合わせながら、かつ、ここに挙げていただいている課題がありますので、その視点で見に行

	<p>く。あとは、間宮委員がおっしゃった社会実験については、先に事務局が、先ほど矢本委員がおっしゃった中間報告に基づくモデル事業というのが社会実験に近い位置づけになりますか。普通モデル事業といたら、まずパイロット的にやってみて、うまくいけば事業化するのではないかと思います。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>先ほど間宮委員が言っていたのはソフトの事業ですが、ハード系の社会実験というのを具体的にどういう感じですか。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>そうですね、例えば、大道筋まちのデザインカフェをするのであれば、東京などでよくあるのは、一部歩行者天国にして、そこにパラソルと椅子を並べて、仮設的にカフェをつくってみるということです。</p> <p>そういう状況をやってみて、人が来るのか、住民からクレームが来るのか等を前提に一回やってみるということです。うまくいったら次のステップに行く。それぐらいのことだと思います。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>確かにそうですね。今、大道筋のザビエル公園より南側は、花壇が整備され、電線が地中化されていると思いますけれども、北側は、歩道整備がされてないところがあります。ですので、建設局と連携して、基本設計を今進めています。地元の方などに意見をいただき、それを詳細設計に盛り込もうと思います。その折に、例えばそういう歩道を活用したカフェなどを、我々も後々したいと思っていますけれども、地元の人に意見を聞くときに、今言っていたような、一旦その歩道にカフェをモデル的にやってみる等、色々違う意見をいただきたいと思います。</p> <p>今モデルに挙げているのは、基本的にはほぼソフトで、この7月にやる大道筋でのデザインカフェというのは、既に1回目をやりましたけれども、大道筋沿いの空き家で何か取組ができないかということ、皆さんに周知しまして、興味のある方は寄っていただく。地元の方にも来ていただいて、どういうふうに変わってほしいか色々ご議論をいただく。そこを借りて事業をしたい方と、その周辺に住んでいる方がどういうカフェや、そういうものになればというのを既にやらせていただいて、そこを利用したいと手を挙げている方が、一人います。その人のイメージをもう少し具体的にしたものを、また周辺の方に見ていただく。今、間宮委員がおっしゃったような、一旦仮の改装というのはできないですけれども、できたパーツとか、イメージ図みたいな</p>

	<p>もので、皆さんに色々ご議論いただくというのを7月に2回目として考えております。このデザインカフェが一部ハード系に当たると考えております。</p>
岡田会長	<p>1回目に住民の方はどれぐらい来られましたか。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>30人ぐらいは来ていただいたのかと思います。</p>
間宮委員	<p>私の思っているイメージは違って、大道筋という場があり、そこに空き家がある。そこに出店というのは、一般の方でもできると思います。やはり評議会で考え、行政でしかできないことを実験していかないといけないと思います。一般でもできることを行政が後押しというのも、もちろんいいと思いますけれども。</p> <p>例えば、大道筋にザビエル公園を中心とした一区間にキッチンカーを10台並べます。それは募集すればいいわけですが、普通でしたら、駐車場の許可がおりない。でも行政だから、社会実験として、土日にキッチンカーを10台並べます。その前に、椅子とテーブルが100台並びます。これはにぎわいづくりとしてのひとつの実験だと思います。それは民間ではできないので、役所が絡んで評議会が考えてやればいいのかと思います。その結果、大道筋には人がすごく来るということがわかれば、一般の人もお店を出していく。その辺りを考えていかないと、民間が考えていることを行政が後押ししても、多分、失敗すると思います。民間の人たちが起業する、こんなことができるというきっかけづくりを、僕たちが盛り上げていかないと。多分行政が中心となって、誰かをバックアップしても、その人たちは行政がいるからできるけれども、いなくなれば持続できないと思います。だから、そうではなくて、その人たちが自分たちでもできる機会を与えていく。これからのまちづくりには、そういうことが行政の役割として大事なかなと思います。</p> <p>そうすることで、やはり堺市はおもしろいよね、大胆なことをしているよね。何かイベントで、チンチン電車に乗り、大道筋に行ったら、お店だけではなくて、道を使ったイベントがいつも何かあるということが発端になり、どんどん盛り上がっていくのではと思います。</p>
岡田会長	<p>行政の役割というのは、なかなか難しいところですね。</p>

間宮委員	<p>一度、実験という名前にして、実施すればいいと思います。それで、初めからどうですかということを出してあげれば、いいような気がします。</p>
岡田会長	<p>委員のおっしゃることはよくわかります。あくまで主人公はそのこの住民や企業の方々です。主導というよりは、条件整備とか環境整備の担い手としての行政の役割というのはあります。だから、今回この評議会は、論点は整理して役割もわかっているので、それを踏まえて、何かお膳立てをする。実際には動いてもらう。その辺りを探しながら、何か考えられたらなと思います。</p>
北野委員	<p>新しい取組とか実験的なこととかを推進していくのはすごく大事だと思います。だけど、すでに実施していることについて、例えば国際アートブリッジというアーティストたちの組織は、昨年と一昨年とで2回、灯籠流しという子ども向けのイベントをザビエル公園そばの内川で行いました。昨年は別のザビエル公園のイベントと同日で、随分盛り上がっていました。</p> <p>実際にそうして歩み出した事業もあるので、そういうものを助けていくのも大事ではないかなと思います。そういうものがいつ、どのような形で行われているか、情報を細かく拾い集めて、各地域で頑張っている方々を行政も支援するし、まちの人たちも応援する、そういう仕組みがあればいいと思います。</p>
岡田会長	<p>細かく拾い上げていくというのは、最初の話にもありますね。スケジュールが皆さんの目に映り、理解をしていただくと市民の方もそれを応援するという、意識の補助になり、色々な意識の醸成にもなるのかと思います。</p> <p>あと、次の案件2の中でまた具体的にご意見をいただけたらと思います。</p>
	<p>(2) 堺区区民評議会発意による調査等の実施</p>
岡田会長	<p>それでは、案件2「堺区区民評議会発意による調査等の実施」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より資料3の説明。</p>

岡田会長	<p>ありがとうございます。一部、もう議論いただいておりますが、引き続きワークショップ、フィールドワーク、視察に特化してご意見をいただけたらと思います。</p>
小池委員	<p>先ほど間宮委員がおっしゃっていた社会実験が、何かできればいいと私も思いましたが、そういう社会実験を見に行く、あるいはワークショップのテーマなども、大道筋もしくは紀州街道沿いで社会実験するなら、どういうことをしたいか具体的なものにつながる話し合いができるのではないかと思います。</p> <p>あと、「住んでよし」、「働いてよし」、「訪れてよし」のことが、別々に中間報告でも語られていますけれど、その3つが一緒に捉えられるような取組ができるのではないのかなと思います。例えば、大道筋で朝市をするのでしたら、おそらく観光客、子ども、地域の方も、一緒に子どもガイドをやるとか、地域の方が朝ご飯を買いに来るとか、観光客が訪れるとか、全部一緒にできるような取組を社会実験で何かできるとよいと思います。</p> <p>視察先としては、例えば社会実験ですと、今、御堂筋でパークレットという、淀屋橋の南側のところにベンチを置いたりしています。神戸ですと、アーバンピクニックという市役所の横のあまり使われてない公園に、期間限定で本を置いたり、市民が使うちょっとしたカフェを出したりして、にぎわいを取り戻したりという動きがあるので、そういうものを見に行ってもよいかと思います。</p>
松壽委員	<p>私は、ワークショップやフィールドワークの実施はすごくいいと思います。ただ、我々、堺区区民評議会で、私たち自身は一体何をしたいのか。一度、堺区区民評議会のメンバーで何かまとめるような機会、一度話し合うような機会があるといいなと思いました。</p> <p>河辺を活かすというのもわかりますし、堺で環濠があったというのもわかります。しかしこれが、このメンバーの中で、具体的に本当に何かしたいというものがあるのであれば、聞いてみたいと思います。だから、一度そういう機会を設けていただければと感じました。</p>
岡田会長	<p>具体的には、どんなことをイメージされていますか。</p>
松壽委員	<p>郷土愛を醸成するとかという言葉自体は、すごくわかります。けれども、一体それをするためにはどうしたらいいのか。皆さんの具体的</p>

	<p>にやりたいことやイメージなどを共感し、ひとつの方向に向かっていけるような場というのをつくっていただければと思います。このワークショップにしても、メインの考え方は他の人の意見を聞くことで、堺区区民評議会自体も、住民やさらに他の人の意見を聞くということになると思います。では実際に堺区区民評議会ではこういうふうを考えています、こんな事例もありますということも多くの人と共有、共感できるような場があればいいのではと思いました。</p>
岡田会長	<p>何かご意見ございますか。</p>
北野委員	<p>この方針に沿わなくてもいいのであれば、私が考えていることです。例えば、私のかかわりのある植田陸雄さんという非常に国際的な作家がいます。その作家には風を集めるっていうシリーズがあり、世界各地の風を缶に詰めて、何百と並べてそれを展示する、現代アートのインスタレーションというのをやっておられます。</p> <p>残念ながら堺でも日本でもなかなか知られていないですが、世界的には大変有名な方です。</p> <p>またその方には、ウインドドローイングっていうシリーズがあり、その辺の木の葉っぱにひもをつけて、ひもの先に鉛筆をつけて、下に紙を敷いておくと、木が揺れて葉っぱが揺れて枝が揺れて、下の紙に絵が描けるっていうことをやっています。作家には許可をいただいているので、子どもさんを集めて、開口神社、浜辺、川のそばなど、どこでもいいから、堺のいいなという場所に作家さんと子どもたちが行うワークショップをやる。それをユーチューブやインスタグラムで、発信していくアートプロジェクトみたいなものをやる。お金も設備も要らないので、実現可能ではないかなと思います。そういうことができたらいいと考えていました。</p>
間宮委員	<p>そういうことができる環境をみんながつくっていくことが大事ですよ。</p>
碓塚委員	<p>堺区民にとって、住みやすいまちの実現に向けて、テーマ例を挙げていると思いますが、もっと簡単に公園、食など単発のキーワードを挙げてもいいかと思いました。あと、ある程度そのテーマを絞っていくほうがいいと思います。この参加でつくる堺区民にとっても、こちらからある程度キーワードを指定しておけば、何かヒント</p>

<p>貴志委員</p>	<p>がつなげられて、ひとつのものになるなと感じました。</p> <p>以前から、堺には本当に歴史的なものだとか、有形無形のもものが色々あり過ぎて、誰もあまり大事なものを感じてないところがあります。特に知っている人以外語られることもない部分が非常に多いと思います。その辺りを全部まとめると膨大なことになるかもしれませんが、1個2個のテーマを持って、そこは掘り下げて見る。そういうものを広報までいかななくても、今回はこの話をまとめてみますなども、おもしろいと思います。古墳も沢山あるので、大きなもの以外に、その横にあるものも実は小ネタみたいなおもしろい話が結構あるのではないかと考えたりします。誰も知らない、そういった話を掘り下げていくのもいいのではないかと思います。</p>
<p>奥野委員</p>	<p>私もいろいろ堺に出かけたりしますが、毎年のように社会実験をやっていますよね。ベロタクシーもありました。あと、竹内街道のバスありましたよね。</p> <p>竹内街道のバスツアーは参加しました。街道は強いと思いますね。あと自転車とか、移動する乗り物や、ルートとかをキーにすれば、歴史、美術、建物など全部つなげられ、まさに堺のテーマがあり過ぎ、面で広がりどこを見ればいいかわからない感をクリアできるかもしれないかと思います。</p> <p>ベロタクシーをやりましたが、やはり自転車のまち堺だから、世界遺産になるころには、自転車タクシーを通してほしいなと思います。大阪の海遊館のあたりで走っているベロタクシーや、奈良や横浜市などのシクロポリタンというベロタクシーとは別の自転車タクシー、そういうのも見たいです。あと古墳を見るにしても、仁徳陵を一周すると1時間ぐらいかかりますから、レンタサイクルに乗らないお年寄りが、自転車タクシーで周れるようになるとか、それをあとひと押しするような工夫が欲しいなと思います。だからそういうことができるような視察も行きたいなと思います。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>他に、ご意見ないですか。</p>
<p>湯川委員</p>	<p>中間報告を見ながら色々考えていましたけど、高齢化の問題と、そこに対して堺区らしくどうしていくのかが、基本的な考え方として、ひとつあるのかなと思います。年間でモデル事業として挙げているプ</p>

	<p>プロジェクトが、効果検証していくということですが、この基本的な考え方の視点で見たときに、この事業はどれだけこれに関しての効果があるのかというのを検証するというので、間違いないのかという確認がしたかったです。そうなるこのフィールドワークとか、先進事例視察で北浜水辺協議会に行くのは、この考え方にのっとるのであれば、ここが適切なのかどうなのかというのも聞きたいと思いました。</p> <p>そうなる、ワークショップなどで、参加者の方たちの地域の担い手である自治会長、民生委員とか、特にこの辺りから、もっと高齢者の根深い課題という意見が出てくるのではと思ったときに、その地域で本当に担い手になっている人たちが、堺 asobi や浅香山 GENKI プロジェクトとか、全然階層が違う感じがするモデル事業に納得されるのかというのを堺区区民評議会でも、効果検証するわけですね。何かちぐはぐではないかと、思った次第です。その辺りの先進事例とかも、もし基本的な考え方というのが、中間報告で挙がっているのであれば、この取組に沿ったところを見に行ったらいいのか、それとも北浜水辺協議会が、そういった視点も入れて取り組んでいるのであれば、早目に見に行ったらいいが、自治会長から色々な話を聞いたときに、いや、ここではこういう取組をしているから大丈夫ですよと、何か言えるのではないかと思います。その辺りの関連性を整理させてもらえたらと思いました。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>最初のほうに間宮委員からフィールドワークのねらいについてのお話をいただき、そのときにも申し上げましたが、今ここで挙げられている課題に照らし合わせたときに、モデル事業に挙げているものであるとか、先進事例の視察であるとか、フィールドワーク先が連動していないと、あまり意味のない取組になると思うので、この辺りはきちんと精査をいただいて、連動させたものになるようにしていきたいと思います。</p> <p>調査研究というか、今挙げられているものを踏まえて、また来年度以降につながる、調査みたいなものは大丈夫ですか。そのあたり説明をいただいていいですか。</p>
<p>事務局 (岩野主査)</p>	<p>皆様に色々な事業というのを今後考えていく中で、必要な調査をご提示いただければ、こちらでも進めていき、結果等を提示できるかと思っています。</p>

岡田会長	<p>なので、中間報告にある課題というか、方向性を踏まえてその視点で、フィールドワークなりワークショップを行う。また、モデル事業についても検証をさせていただいて、今後の知見を得て、かつ、それを踏まえて、新規事業を考えられたらと思います。そのためのエビデンスとして、調査研究事業がもし必要であれば、可能であるということで、よろしいですか。</p>
間宮委員	<p>行きたいところに行けるのであれば韓国。清溪川(チョンゲチョン)。あれはすごい成功例で堺市が今後めざす大きなビジョンだと思うんです。本当に見に行くと、その調査をして堺市にあてはめてみると、どういうふうにしたら、本当にそういうことができるか、事例としてはおもしろいです。</p> <p>ソウルの中にある清溪川(チョンゲチョン)、もともと高速道路だったんですが、高速道路ができたことによって、すごく景観が悪くなって、市民から反対運動が出てきました。そこで高速道路を撤去して、川にしたんです。もともと川だったんです。堺の環濠を潰して、高速道路を建てたのと一緒で、それを復活させたんです。そのことによって、まちがすごく活性化できた成功例で、世界的な成功例なんです。</p> <p>そういう成功例があって、それを堺市のビジョンでもある、環濠復活という大きなものにつながるというストーリーを書ければ、僕は行っても価値があると思います。個人で行ってもどうしようもないので、こういった審議会で行って研究して、次につなげていけばいいのかなと思います。それぐらいのほうが、逆に話題なりひとつのきっかけにはなると思うんです。</p>
岡田会長	<p>そうですね、僕も幾つかかかわったことはありますけど、例えば、湯布院だと、ドイツの温泉地に行くと、温泉を中心にまちづくりというか、ただの大分の温泉を、スパやいろいろなことを考えてまちづくりをする。ドイツまで見に行った地域の方が衝撃を受けて、それを持ち帰って、ああいう形の日本に名だたる温泉地にしたっていうのは、あれは本当に地元の人たちが中心となってやっている。おっしゃるようにひとつのインパクトになるのかもしれないですね。</p> <p>それでは、他に何かございませんか。</p>
木下委員	<p>皆さん専門分野がありここに来られているので、すごくハイレベルだなと感じました。私のように一般市民で、区民である人間からすれ</p>

	<p>ば、堺のみんなが知っていて当たり前のことも、全然知らない部分があります。その様な一般市民がおそらくたくさんいるのではないかと思います。会議でも区民目線での発信方法とか、参加できる方法など一般市民の目を向けられるようなことを考えていかないと、色々なことを考えてやったとしても、区民や市民の人に、周知できてなかったら、折角いいことなのに参加もできない。知るすべもないというのが悲しいことかなと思うので、区民目線で考えていただくときもあっていいかと思いました。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。一番大事な意見で、区民目線とか、市民目線がなければ、区民から乖離したものになりますし、本当に意味のないものになってしまいますので、常にそのあたりは意識をしないとイケないというのが、我々評議会というか、メンバーの中に必要なことかなと思いますので、貴重な意見だったと思います。</p>
	<p>(3) その他</p>
岡田会長	<p>それでは、案件3、その他について説明をお願いします。</p>
事務局 (岩野主査)	<p>今後の日程ですが、5月、6月にかけて、フィールドワークとワークショップを考えております。また、各回の会議日程についての提案になりますけれども、開催日がある程度固定した形で、何週目の何曜日というようにスケジュールを調整いたしたいと考えております。皆様よろしくお願ひいたします。</p>
	<p>4. 第1回堺市堺区区民評議会 閉会</p>
岡田会長	<p>よろしいですか。ご協力のほどよろしくお願ひしたいと思います。 それでは、以上をもちまして、平成30年度の第1回堺区区民評議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>